



2025年8月14日

各位

会社名 株式会社セイファート
代表者名 代表取締役社長 長谷川 高志
(コード番号：9213 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員 経営管理本部 本部長
兼 経理部 兼 経営企画部 本部長
西 山 一 広
(TEL 03-5464-1490)

2025年12月期第2四半期(中間期)連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2025年5月15日に公表いたしました2025年12月期第2四半期(中間期)の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 2025年12月期第2四半期(中間期) (2025年1月1日～2025年6月30日) の連結業績予想値と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,128	百万円 26	百万円 25	百万円 17	円 銭 12.96
実績値 (B)	1,049	4	2	0	0.35
増減額 (B - A)	△78	△21	△23	△16	—
増減率 (%)	△6.9	△82.3	△90.3	△97.3	—
(ご参考) 前期実績 (2024年12月期中間期)	1,150	80	87	61	46.89

2. 差異の理由

売上高につきましては、主に下記要因の影響により前回予想を下回る結果となりました。

「教育(その他)サービス」における「海外研修」は、英国教育機関「City & Guilds」との関係性を活かして前下期から開始した英国からの来日研修の回数が増加したこと、及び実施単価が大幅に向上したことにより、予想を大きく上回る結果となりました。

しかしながら、「広告求人サービス」における中途美容師向け求人情報サイト「re-request/QJnavi」は、SEO対策等の応募件数増加施策を当第1四半期から継続して実施したものの、課題を残しております。そのため、販促キャンペーンを継続的に実施し、新規掲載件数増加に努めたものの、比較的掲載単価が高い既存掲載件数の減少を補填できず、予想を下回る結果となりました。

また、「beauquet」と「タブレット・レンタル」は、クロスセルに伴い、タブレットを活用した広告配信による収益を積上げたものの、前年同期に受託した大型プロモーション案件が第3四半期以降に時期ずれしたことで、案件数、及び案件単価が予想を下回る結果となりました。

利益面につきましても、「re-quest/QJ navi」は、他の商品よりも売上総利益率が高い商品であるため、営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する中間純利益につきましても、それぞれ前回予想を下回る結果となりました。

3. 配当予想について

当社は、株主還元について、重要な経営課題のひとつとして認識し、将来の成長のための投資や事業展開の状況、経営成績、及び財務状況等を考慮しながら、安定的且つ継続的な配当を実施していくことを基本方針としております。

上記方針を踏まえ、当社は、株主の皆様への利益還元の機会を充実させ、株式を継続して保有していただくことを目的としていることから、1株当たりの配当金につきましては、期末配当は普通配当7円、年間配当合計は12円とし、配当予想の変更はありません。

以 上